

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 電気電子工学工学コース (職)教授 (氏名)曹 梅芬

取 組 状 況	
教育	<p>1. 座学と実験の連携 座学と実験を連携させることで、学生の理解度と学習意欲が向上できた。また座学の配布資料に各々の内容が実験のどのテーマに関連するについて明記し授業中に説明することにより座学と実験のタイミングのズレによる影響を軽減した。</p> <p>2. 授業用PPTの作成とオンライン授業の実施 担当科目(5科目)のオンライン授業実施のため、すべての授業用PPTを作成した。PPT資料を事前にWEB配布することで、学生の予習復習にも役立てられた。板書時間が短縮でき、授業中に演習や質疑応答の時間が増え、学習効果を向上させられた。またオンライン授業中にタブレットとPCを併用することで、演習の解説や質疑応答時に板書と同じか、それ以上の効果が得られた。</p> <p>3. ゼミ・卒研の指導 基礎勉強会のほかに、5年生輪講・発表練習への参加も取入れたゼミ指導を行った。卒研とゼミの輪講(12回)を行った。課題発見と解決能力及び研究方法や論文の書き方など技術者として必要な基礎知識を身につけられるように卒業研究を指導した。学生の学会発表への投稿論文作成指導も行った。</p>
研究	<p>1. 紀要論文の執筆 曹梅芬, 山下滉明, 清住空樹, 多田有佑, “地形センシング用床反力センサ及び6脚ロボットの開発”, 東京都立産業技術高等専門学校紀要, 第十五号, 2021年3月</p> <p>2. 学会発表 清住空樹, 多田有佑, 曹梅芬, “不整地における6脚移動ロボットのジャイロセンサを用いた姿勢制御”, ROBOMECH2020 in KANAZAWA, 2020年5月</p>
社会貢献	<p>1. 出前授業 コロナ感染予防のため、今年は実施しなかった。</p> <p>2. 研究分野・成果のアピール 教員シーズ集などを通じて、研究分野・成果をアピールし、企業からの受託研究や技術相談などの要請に対応できる体制を整えた。</p>